

**Entrepreneur Candidate Club (ECC-iCAP)**  
**the place where science & entrepreneurship intersect**

～ 科学のフロントランナーが語る未来世界 ～

起業家×研究者×技術者が京都大学のサイエンスで起業するプラットフォーム、ECC-iCAP のイベント第4弾を開催します！ ご参加お待ちしております！ ポスドクも大歓迎！

**日時** 8月23日（木） 18:30（18:00開場）～21:30  
**場所** 京都アカデミアフォーラム（新丸の内ビル）  
**定員** 先着100名まで  
**対象** 起業家精神を持つ社会人、企業経営者、将来、CEO、COO、CSO、CFO等経営層を目指す個人（京都大学出身者に限らない）  
**主催** 京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
**共催** 京都大学産官学連携本部、日本ベンチャーキャピタル株式会社  
**申し込み方法** 下記 URL からお申し込みください  
→ <https://ecc-icapevent04.peatix.com>



**ポスドク研究者  
大歓迎！**

**進行：(司会 京都大学イノベーションキャピタル 八木信宏)**

18:30-18:40 開会挨拶&オリエンテーション（京都iCAP室田浩司（代表取締役））  
18:40-20:00 「科学のフロントランナーが語る未来世界」研究者からのプレゼンテーション  
20:00-21:30 交流会（登壇者別にテーブルを囲んで起業家候補と交流）

**研究者プレゼンテーション：（登壇者およびタイトルは当日変更になる場合がございます）**

- 黒田 隆 京都大学医学部附属病院 整形外科助教：  
そこまできている大腿骨頭壊死症の再生治療、しかし患者は待てない
- 中村正治 京都大学化学研究所 教授：社会革新触媒で精密鉄触媒化学（株）立ち上げだ！
- 山本佑樹 国立病院機構京都医療センター医師（元京都大学附属病院呼吸器内科）：  
呼吸器疾患を標的とした革新的創薬基盤の事業化
- 松田知成 京都大学工学研究科附属流域総合環境質研究センター 准教授：  
画期的抗体スクリーニング法 の未来
- TBD

※ECC-iCAPは、起業家と京都大学テクノロジーのマッチングを目的として京都大学イノベーションキャピタル株式会社が運営するクラブです。

「お問い合わせ」：ECC-iCAP事務局 [ecc-icap@kyoto-unicap.co.jp](mailto:ecc-icap@kyoto-unicap.co.jp)

<登壇者 略歴>

**【黒田 隆】**

大腿骨頭壊死症は20歳から40歳に好発し、足の付け根の大腿骨頭が血流障害により腐って潰れてしまい（骨頭圧潰）、歩行が困難となる難病である。ステロイド治療やアルコール多飲が契機で、年間国内3000人、米国2万人の発症、中国では累計数百万人の患者が報告されている。

通常、若年者にも人工股関節手術が行われているが、感染、脱臼、耐久性、活動性制限、高額な医療費が懸念される。そのため、早期発見、早期手術で骨頭圧潰させない再生医療が究極の研究テーマであった。演者は成長因子の一つであるFGFというタンパク質が壊死部の骨再生を可能にすることを明らかにし、2013年ヒトでの臨床試験10例、2016年からは医師主導治験64例を実施し、世界標準の再生治療となることを目指している。手術デバイスの開発により、傷は1cm、手術時間10分ほどの日帰り手術が研修医でも可能となっており、これらの医療技術を国内外で展開したいと考えている。

**【中村正治】**

1989年 東京都立西高等学校 水泳部 卒

1990年 駿台予備校 中退...

1991年 東京理科大学 体躯会水泳部主将（関東3部昇格...）

1996年 東京工業大学大学院 修了（博士号取得）

1996年 東京大学 理学部科化学教室 助手（鉄触媒研究開始）

2002年 同 講師

2004年 同 助教授

2006年 京都大学 化学研究所 教授（38歳!）

2013-15年 京都大学 化学研究所 元素科学国際研究センター センター長

2017年 日本化学会 学術賞受賞（会員2万人中10人程/年）

**【山本佑樹】**

1981年生まれ、神奈川県出身。出身高校は神奈川県の栄光学園高等学校。

2006年に横浜市立大学医学部医学科を卒業し医師免許を取得。臨床研修医を経て2008年から東京都立多摩総合医療センターで呼吸器疾患全般の患者診療に携わる。治療方法のない疾患が多い呼吸器領域の診療に革新をもたらす研究を行いたいと考え、2012年から京都大学大学院医学博士課程に入学し、iPS細胞を用いた肺再生研究に従事。この研究が論文公表に至り、2018年に医学博士号を取得。また学位論文の研究内容であるiPS細胞から呼吸器上皮細胞を分化誘導する技術の発明者として2件の特許出願中(京都大学)。2017年から京都大学医学部附属病院呼吸器内科で、2018年からは国立病院機構京都医療センターで再び呼吸器内科医として臨床現場に立つ傍ら、iPS細胞から呼吸器上皮細胞を分化誘導する技術の事業化による社会実装に向けた取り組みを開始。

**【松田知成】**

1995年3月 京都大学工学研究科博士後期課程 衛生工学専攻修了 博士（工学）

専門は環境工学、毒性学、化学物質管理。特に環境変異原の研究に力を入れており、新しい遺伝毒性試験の開発を行っている。これら研究の過程でバイオインフォマティクス解析法を習得し、今回の「画期的抗体スクリーニング法」の開発につながった。